

ヤスデの仲間

足が多くてごめんなさい



ヤケヤスデ (体長約2cm)



庭で発生したヤケヤスデの集団 (駆除後の死骸)



ヤンバルトサカヤスデ (外国からの侵入種)



アオズムカデ (有害)



ゲジ* (無害)

(* 足立区 嵯峨祐一氏 撮影)

発生時期												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
発生												
多い												

発生 多い

ヤスデの仲間は人家周辺や庭など、どこにでも生息しています。特に害はありませんが、見た目が気味悪いため「不快動物」として扱われます。

生態

ヤスデの仲間は腐った植物質(腐植質)を餌にしており、人家周辺にはヤケヤスデがよく見られます。刺したり咬んだりはありませんが、触ると臭気のある液体を分泌します。

5月から7月頃にかけて大量に発生することがあり、庭や建物外壁、ブロック塀などを一面に覆ってしまうような例があります。

なお、外見が似た動物にムカデとゲジ(俗称「ゲジゲジ」とありますが、いずれも別の動物です。大型のムカデは人を咬むので注意が必要です。

防除

大発生した場合でも放置しておけば自然に分散してしまいます。家の中に侵入した場合は、手で触らず、紙で覆って捕らえるか掃除機で吸い取ります。殺虫剤(不快害虫用)も有効ですが、有機質を分解して土に還す大切な役割をしている動物なので、できるだけ薬の使用は避けたいものです。

問い合わせ先